

表1

ヒアリング項目		
No.	内 容	ヒアリング内容
1	貴法科大学院では、法曹倫理を何学年の配当科目とされていますか。それはどうしてですか。	
2	先生の過去及び現在の本職は何ですか（裁判官、検察官、弁護士、研究者）。	
3	先生が法曹倫理を教えられるようになって何年になりますか。	
4	法曹倫理を担当されている教員の方は何名ですか。複数の教員の方が担当されている場合、各々の役割分担はどのようになっていますか。教員間での情報共有・授業内容の調整はどのようにされていますか。	
5	法曹倫理として、どの範囲の事柄を教えておられますか（弁護士倫理以外に、裁判官倫理や検察官倫理についても教えておられますか。）。	
6	授業をするに当たり、学生に予習はさせておられますか。させておられる場合、どのようなことをさせておられますか。	
7	授業は、ソクラテスマソッドで行っておられますか、講義形式ですか。	
8	法曹倫理の授業を通して、学生に何を身に付けさせたいと考えておられますか。	
9	裁判官、検察官、弁護士のどこに軸足を置いて、法曹倫理を教えておられますか。	
10	実務的知識の無い学生に、法曹倫理をどうやって理解させておられますか。	
11	法曹倫理以外の科目の中で法曹倫理に関係する問題を取り上げることがありますか。ある場合、どのような科目の中ででしょうか。取り上げるのはどのような問題ですか。	
12	法曹倫理科目では、いわゆる法曹倫理を教える以外に、どのような教育活動を行っておられますか。	
13	現職の裁判官や検察官にゲストスピーカー・ゲストティーチャーを依頼しておられますか。依頼している場合、その目的は何ですか。事前にどのような打合せをされていますか。	
14	裁判官・検察官以外のゲストスピーカー・ゲストティーチャーとしてどのような方に依頼しておられますか。依頼されている場合、その目的は何ですか。事前にどのような打合せをされていますか。	
15	教材はどのようなものを使用しておられますか。どうしてその教材を使用しておられるのですか。	
16	法曹倫理を教えることの難しさを感じておられますか。それはどのような難しさですか。	
17	成績（平常点・試験点）の評価はどのような方法で行っておられますか。	
18	試験を行う場合、どのような問題を出されていますか。	
19	試験の際の参照資料として、どのようなものを認めておられますか。	
20	法曹となった修了生との間で、法曹倫理について話をされたことや、相談を受けられたことはありますか。	
21	法曹となった後の継続的な倫理的研鑽について教えておられますか。教えておられる場合、どのようなことを教えておられますか。	
22	法曹倫理を司法試験科目とすることについてどのようにお考えですか。	
23	刑事弁護に関する倫理に当てておられる授業時間数はどのくらいですか。	
24	刑事弁護に関する倫理に関し、どのようなことを教えておられますか。	
25	「再審無罪事件」や「えん罪事件」について、授業の中で取り上げておられますか。取り上げておられる場合、その理由・内容・科目（法曹倫理、刑事実務等）はどのようなものですか。取り上げておられない場合、その理由は何ですか。	

ヒアリング項目	
26	当委員会としましては、「再審無罪事件」や「えん罪事件」は、法曹倫理教育にとって、極めて有効、優れた素材と考えておりますが、この点についてはいかがお考えですか。
27	「再審無罪事件」「えん罪事件」を教えられるに際して、適切な教材はありますか。
28	「再審無罪事件」「えん罪事件」を通して法曹倫理を考えてもらうことについて、何かアドバイスはございますか。
29	担当されている法曹倫理の1クラス当たりの学生数は何名ですか。
30	担当されている法曹倫理科目の単位数は何単位ですか。
31	法曹倫理の他に担当されている科目がおありですか。ある場合その科目は何ですか。
32	今回のヒアリング内容を、法科大学院や日弁連等の関連委員会に配布する予定の報告書等で使用しても構いませんか。
33	上記32が可である場合、法科大学院名を公開しても構いませんか。
34	上記32が可である場合、先生のお名前を公開しても構いませんか。
35	その他、公開に関するご意見はありますか。